

一針一針、
縫い上げた雑巾を寄贈
七年で五千枚に



▲ 子どもたちの元気な姿を思い浮かべ、一針一針縫い上げる中川タエ子さん(左)

なか がわ た え こ
中川 タエ子 さん 星置寿会（老人クラブ）

学校の掃除には欠かせないのが雑巾。中川タエ子さんは、不要になった布から雑巾を作り、地元の小中学校などに寄贈して今年で7年。寄贈してきた雑巾は5千枚にも上ります。

きっかけは、ゲートボールの練習に星置東小学校体育館を学校開放で利用していた時、「利用のお礼に何かできないだろうか」と考えたことでした。子どもたちに使ってもらおうと雑巾を寄贈すると、小学校から感謝状が贈られました。その時のことを振り返り、「本当にうれしかった」とタエ子さんは言います。

当初は、すべての作業を一人で行っていましたが、今は老人クラブ星置寿会のメンバーも協力して作っています。区内で最も古く、全市でも2番目に古い同会は、お手玉を作って寄贈するボランティアなども行うなど、元気一杯。「目標は1万枚」というタエ子さんや仲間の皆さんの手で作られた雑巾は、子どもたちの手に渡り、これからも大切に使われていくはずです。



▲ 感謝状には、雑巾を使って元気に掃除する子どもたちの写真が添えられています

編集 手稲区役所総務企画課広聴係
ホームページ「ていねいいいね」<http://www.city.sapporo.jp/teine/>
〒006-8612 札幌市手稲区前田1条11丁目
☎681-2400内線224 FAX681-6639